

地球温暖化を巡る内外情勢と日本の課題

～第6次エネルギー基本計画とカーボンニュートラル～

2050年カーボンニュートラル、2030年46%削減に向けたエネルギー政策の道筋を示す**第6次エネルギー基本計画**(2021年10月閣議決定)と、**COP26**(同11月開催)での国際交渉を踏まえ、日本が抱える課題と今後の取組みについて、内外情勢に精通したエネルギー環境政策の専門家にお話を伺います。

受講無料

■ 日時 **2022年 1月 27日 (木) 15:00～16:30**

■ 講師 **有馬 純** 氏 (東京大学公共政策大学院特任教授)



〔略歴〕

1982年東京大学経済学部卒業、通商産業省(現・経済産業省)入省。国際エネルギー機関(IEA)国別審査課長、資源エネルギー庁国際課長、同参事官、大臣官房審議官(地球環境問題担当)、日本貿易振興機構(JETRO)ロンドン事務所長兼地球環境問題特別調査員を歴任後、2015年8月より東京大学公共政策大学院教授、2021年4月現職。

21世紀政策研究所研究主幹、経済産業研究所コンサルティングフェロー、アジア太平洋研究所上席研究員なども兼務。IPCC第6次評価報告書執筆。2021年11月「亡国の環境原理主義」を上梓

■ 応募 次のアドレスの申込画面からお申込みください。

<https://ssl.q-enecon.org/koen/form.php>

※ 右のQRコードからもアクセスできます。

※ 「九州エネルギー問題懇話会」ホームページからもアクセスできます。



新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、**Webによるライブ中継にて開催**します。(「**YouTube**」で配信します)

参加お申込みいただいた方には後日受講URLをお送りしますので、当日はそちらからご視聴ください。

主催：(一社)九州経済連合会 九州エネルギー問題懇話会
後援：福岡商工会議所、福岡経済同友会エネルギー・環境委員会